

〔箋注倭名類聚抄七名〕神異經一卷、舊題漢東方朔撰、此作記恐誤、原書作南荒外有火山、其中生不盡之木、晝夜火燃、得暴風不猛、暴雨不滅、不盡木火中有鼠、重千斤、毛長二尺餘、細如絲云々、取其毛績紡、織以爲布用之、若有垢澆、以火燒之、則淨、此所引即是、

〔類聚名義抄十〕火鼠ヒリスミ

〔運歩色葉集久〕火鼠クソクカ皮

〔重修本草綱目啓蒙鼠三十五〕鼠鼠○中

火鼠ヒリスミ、火中ニ棲ム鼠和産ナシ、典籍便覽云、南荒之外有火山、晝夜火燼、火中鼠重百斤、毛長二尺、細如絲、可以作布、時出外、以水逐而沃之、乃死、取緝其毛、織爲西域火浣布ト云、事物紺珠ニ、火鼠出炎山國、山皆火、然鼠生其中、毛長二尺、可爲布、入火不焚、俗謂火浣布ト云フ、竹取物語ニ、無コトノ譬ニ、火鼠ノコトヲ云ヘリ、火鼠ノ毛ヲ以テ織タル布ハ、垢ツク時ハ、火ニテ燒ケバ、鮮白ニナル故、火浣布ト云、造法諸説アリ、蠻人ノ造法モアリ、此ニ火山ノ草木ニテモ織ルコトヲ云ヘリ、

〔竹取物語〕世かいのをのこ、あてなるも、賤しきもいかに、此かくや姫をえてしが、な見てしが、なと、音に聞めで、まどふ○中、其中になほいひけるは、色好みといはる、限五人、おもひやむ時なく、よるひる來けり○中、かくや姫○中、今ひとり○安倍のには、もろこしにある、火鼠の革ごろもを、たまへ○中といふ、

鷓鴣

〔倭名類聚抄十八名〕鷓鴣鷓鴣 玉篇云、鷓鴣鷓鴣 名豆良禰古、小鼠相銜而行也、

〔箋注倭名類聚抄七名〕今本鼠部作鷓鴣、鷓鴣、廣韻同、此所引恐誤倒、小野氏曰、肥前島原所有七郎鼠蓋

此類、

〔類聚名義抄十〕鷓鴣鷓鴣 離二音

〔和漢三才圖會鼠三十九〕鷓鴣鷓鴣 鷓鴣玉篇 愛音 和名豆良禰古 豆良者連也、禰者鼠也、古者小之通稱、